

千葉市観光振興検討会議

第 2 回会議資料

● 目次 ●

01

県と市の役割

.....

02

県の宿泊税の活用方針

.....

03

課題解決に向けた取組方針(案)

.....

04

市内宿泊事業者・宿泊者向けアンケート調査(案)

.....

01

県と市の役割

02

県の宿泊税の活用方針

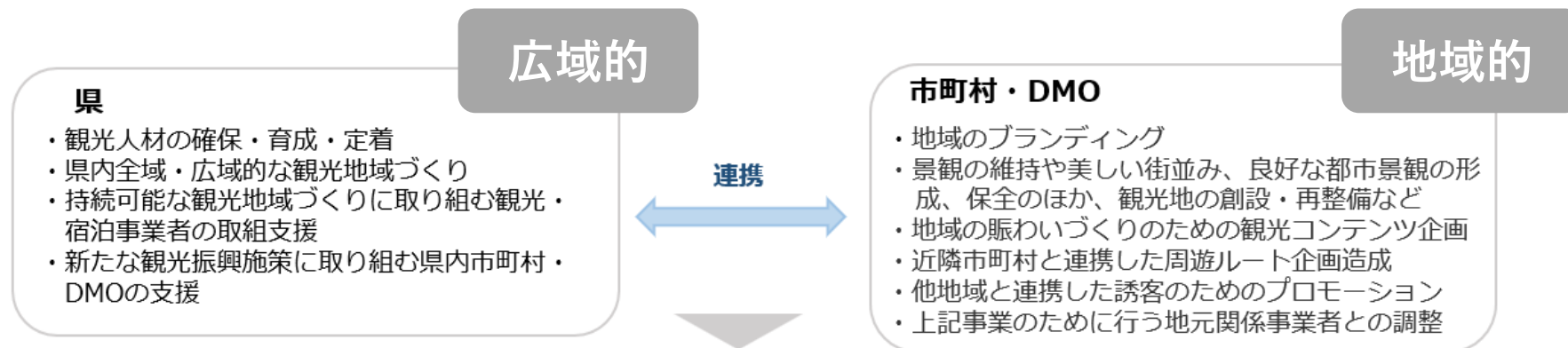
03

課題解決に向けた取組方針(案)

04

市内宿泊事業者・宿泊者向けアンケート調査(案)

県及び市町村等に期待される役割 (千葉県「千葉県観光振興財源検討会議資料」から抜粋)



市町村・DMOが行う地域における取組への支援

約11億円

- ◆ **地域における美しい観光地づくり促進事業（ハード事業）**
統一した街並みや、美しい景観創出のために行う観光施設の改修や廃屋撤去等の支援
- ◆ **地域資源を活用した魅力ある観光コンテンツ企画造成事業（ソフト事業）**
新たな観光客の掘り起こしのために行う、観光コンテンツの企画造成
上記に伴い実施するプロモーション活動等の支援
- ◆ **DMO（地域DMO・地域連携DMO）の設立・運営支援事業**
DMO本登録に必要な専門人材の育成講座の実施
DMOの安定した運営のための必要な支援

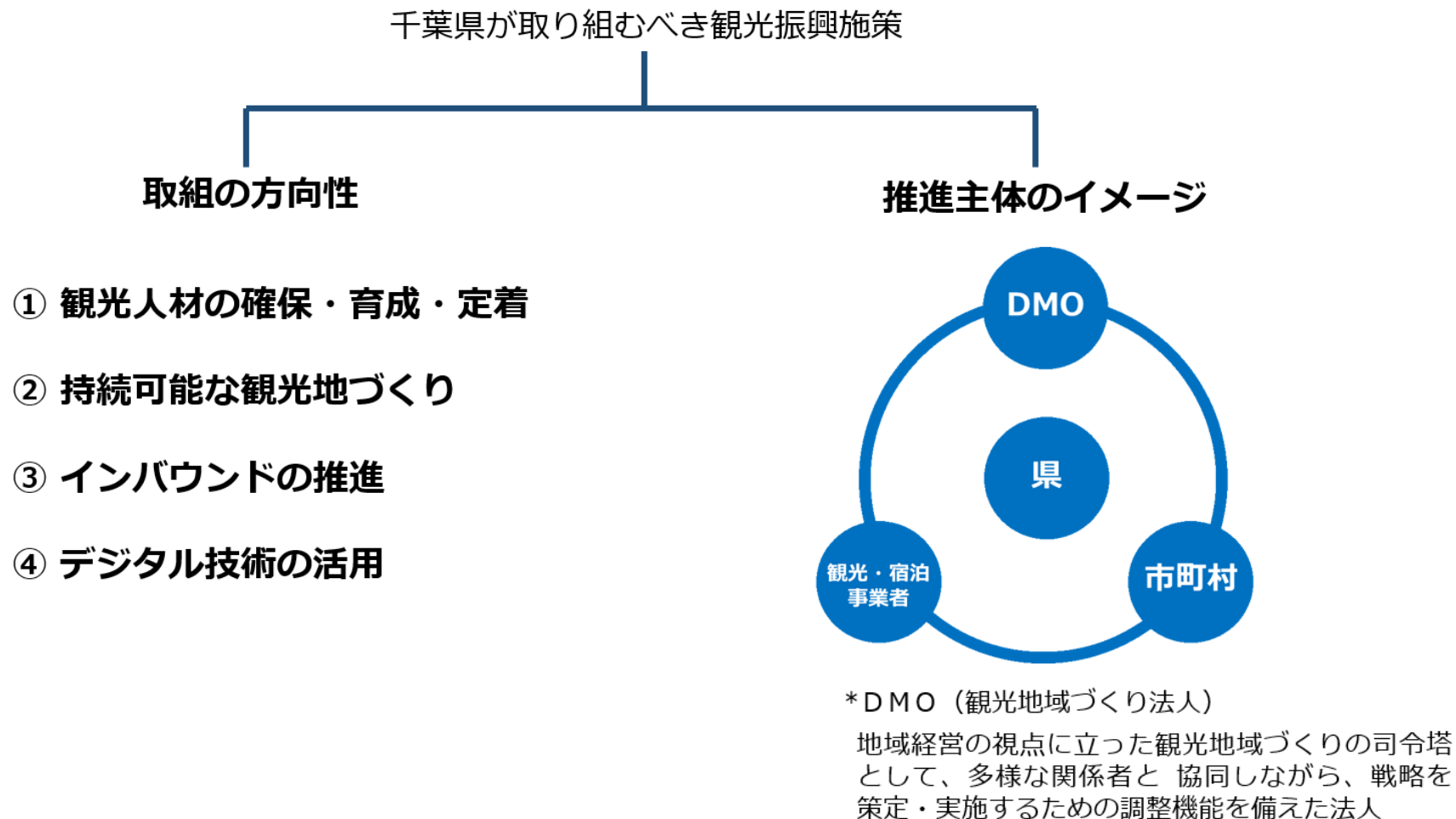
01 県と市の役割

02 県の宿泊税の活用方針

03 課題解決に向けた取組方針(案)

04 市内宿泊事業者・宿泊者向けアンケート調査(案)

県の取組みの方向性と推進主体（千葉県「宿泊税の導入に関する宿泊事業者向け説明会」資料から抜粋）



県が取り組むべき観光振興施策と事業規模 (〔千葉県における観光振興財源のあり方に関する検討結果報告書概要〕から抜粋)

◆取組の方向性 約32.5億円

事業規模 年間約45億円

① 観光人材の確保・育成・定着 約11億円

- ・観光地経営人材の支援等
- ・観光産業人材の支援等
- ・実務人材の確保等

③ インバウンドの推進 約4億円

- ・効果的かつ効率的なプロモーションの展開
- ・受入環境の充実
- ・県内周遊の促進及び旅行消費額の増加

② 持続可能な観光地づくり 約14億円

- ・観光客のニーズの把握と地域の多様な資源の磨き上げ
- ・観光資源の有効活用等
- ・二次交通等
- ・宿泊・滞在を延ばす取組

④ デジタル技術の活用 約3.5億円

- ・観光客のニーズに合った情報提供等
- ・経営効率化のための活用
- ・ビッグデータ等の活用による観光地経営の効率化等
- ・デジタル人材の確保・育成

※赤マーカーは千葉市
(観光MICE企画課)にて
付けたもの

◆市町村、DMOへの支援 約11億円

市町村が行う地域ならではの取組の推進

- ・取組の方向性に合致する市町村が行う地域ならではの取組の支援

DMOの設立支援、DMOが行う地域ならではの取組の推進

- ・取組を推進していくための観光地域づくり法人(DMO)の設立等の支援
- ・取組の方向性に合致するDMOが行う地域ならではの取組の支援

◆宿泊税事務の適正な運営 約1.5億円

※千葉県「千葉県における観光振興財源のあり方に関する検討結果報告書概要」から抜粋

01 県と市の役割

02 県の宿泊税の活用方針

03 課題解決に向けた取組方針(案)

04 市内宿泊事業者・宿泊者向けアンケート調査(案)

03 課題解決に向けた取組み方針(案)



千葉開府 900年

千の葉に 時を刻んで 900年

(1)課題解決に向けた取組方針(案) (総論)

課 題	課題解決に向けた戦略	取 組 方 針	具 体 的 な 事 業 例
観光コンテンツの 造成と磨き上げ	新たな観光コンテンツの造成	本市特有の観光資源への高付加価値化	スポーツ・音楽ツーリズムの構築、ガストロノミーツーリズムの開発、グリーンツーリズムの推進、歴史文化的資源を活用したコンテンツの開発、地域のイベントへの魅力向上支援 等
	観光資源の魅力向上と受入れ環境の整備	- 集客施設等への整備支援 - 市外からのアクセスの強化	集客施設の再整備支援、新たな花のスポットづくり、成田空港連絡バスの運行 等
効果的な情報発信	観光客のニーズの的確な把握と分析	新たなデータの取得と観光客ニーズの分析	ビッグデータの収集、ビッグデータ分析による観光客の動向調査 等
	効果的なプロモーションの推進	- 訴求力のあるメディア活用の強化 - 民間事業者の情報発信支援	ビッグデータを活用した観光ルートの作成、SNSによる情報発信の強化、インバウンド向けWebサイトの構築、OTAサイトへの観光プラン掲載支援、千葉市観光協会の機能強化 等
MICE誘致推進	MICE誘致推進と受入れ環境の整備	- MICE誘致の強化 - MICE施設周辺の環境整備・魅力向上	大規模イベントの開催支援の強化、海浜幕張駅周辺・中心市街地等の環境整備 等
市内観光における 回遊性と県内観光 のゲートウェイと しての機能強化	市内回遊性向上の新たな仕組みづくり	- 二次交通支援 - 賑わい空間の創出支援 - 回遊性・滞在期間を延ばす仕組みづくり	アクセス向上のためのバス・タクシー事業者支援、ナイトタイムエコノミー推進支援、中心市街地の飲食クーポン付き宿泊助成、新たな市内周遊コースの開発 等
	県内観光のゲートウェイ機能の強化	県内観光情報の集約と発信力の強化	駅前観光案内所等の充実、駅前・観光案内所等へのデジタルサイネージの設置、千葉市を発着地とするツアーの造成と支援 等
観光産業の業務効 率化と収益・生産 性向上	市内事業者が抱える課題解決につながる支援	民間事業者の人材の確保、質の向上、誘客の促進に対する支援	観光産業の担い手づくり、宿泊事業者へのハラル・ヴィーガン客等への対応支援、小規模事業者等への上乗せ支援 等
	収益・生産性向上に向けた観光DXの推進	民間事業者の業務効率化への支援	事業者が行うビッグデータ等を活用したマーケティング支援、事業者へのデータ提供等の支援、デジタル技術を活用した無人化の推進支援 等

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題ア 観光コンテンツの造成・磨き上げ

宿泊者数は全国的にコロナ禍前(令和元年)水準に回復している傾向がみられるが、外国人宿泊者数の回復率の状況に限ると千葉市は4割を下回っており、県内他市に比べても遅れをとっている。

外国人観光客を含め、魅力的な観光地として積極的に選択されることが少ない。

- ① 滞在時間(宿泊数)を延ばす仕組みやコンテンツの造成が必要である。
- ② 外国人観光客に千葉市へ訪れてもらえるよう、ツアーへの支援等が必要である。
- ③ 千葉市の集客施設において、通信環境の整備、観光施設の多言語化、老朽化施設の改修、ユニバーサル化等が十分に行われていない。

課題解決に向けた戦略

- ① 新たな観光コンテンツの造成
- ② 観光資源の魅力向上と受入れ環境の整備

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題ア 観光コンテンツの造成・磨き上げ

戦略① 新たな観光コンテンツの造成

取組み方針

本市特有の観光資源への高付加価値化

具体的な事業例

スポーツ・音楽ツーリズム(※1)の構築、ガストロノミーツーリズム(※2)の開発、グリーンツーリズムの推進、歴史文化的資源を活用したコンテンツの開発、地域のイベントへの魅力向上支援、脱炭素に積極的に取組む事業者支援 等

※1 スポーツ・音楽ツーリズム

スポーツの参加や観戦、音楽フェス、コンサート等への参加を目的とした地域の訪問により、周辺地の観光・滞在を促進するもの。

※2 ガストロノミーツーリズム

その土地の気候風土が生んだ食材・習慣・伝統・歴史などによって育まれた食を楽しみ、食文化に触れることを目的としたもの。

戦略② 観光資源の魅力向上と受入れ環境の整備

取組み方針

集客施設等への整備支援
市外からのアクセスの強化

具体的な事業例

集客施設の再整備支援、昭和の森・泉自然公園等の新たな花のスポットづくり、成田空港連絡バスの運行 等

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題Ⅰ 効果的な情報発信

- ① 観光客の要望等を的確に把握し、効果的な施策が実行できるよう戦略的視点をもったマーケティングを行う必要がある。
- ② 千葉市が旅行先や目的地、又は東京・成田空港間の宿泊地として選ばれるよう、千葉市そのものに加え市内各エリアの観光地について効果的な情報発信を行い、千葉市のブランド力や認知度向上に向けた、訴求力の高い情報提供を行う必要がある。
- ③ 飲食、観光、宿泊施設事業者等が、情報発信に対する意欲を有していても、費用面やノウハウの不足等により、十分な対応がとられていない。



課題解決に向けた戦略

- ① 観光客のニーズの的確な把握と分析
- ② 効果的なプロモーションの推進

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題Ⅰ 効果的な情報発信

戦略① 観光客のニーズの的確な把握と分析

取組み方針 新たなデータの取得と観光客ニーズの分析

具体的な事業例 ビッグデータの収集、ビッグデータを活用した観光客の動向調査・分析

戦略② 効果的なプロモーションの推進

取組み方針 訴求力のあるメディア等活用の強化

民間事業者の情報発信支援

具体的な事業例 ビッグデータ分析に基づく新たな周遊ルートの作成、SNSによる情報発信の強化、インバウンド向けWebサイトの構築、パンフレットの刷新、FAMトリップ(※1)の実施、OTA(※2)サイトへの観光プラン掲載支援、千葉市観光協会の機能強化 等

※1 FAM(ファム)トリップ

Familiarization Tripの略。モニターツアーの一種で、国や自治体等が観光誘致を目的に、ターゲットとする国の旅行会社やメディア、インフルエンサーなどに現地視察してもらうツアー

※2 OTA

Online Travel Agencyの略。オンライン旅行代理店

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題ウ MICE誘致の推進

国際会議件数の低迷、近隣都市(東京都や横浜)に比べ回復率が劣っている。

- ① 国際会議補助金等を効果的に活用し、関係機関(県・幕張メッセ・ちば国際コンベンションビューロー)と情報共有を図り、協調して誘致活動を展開するとともに、会議前後に市内を周遊してもらえるよう観光コンテンツの磨き上げ、アフターコンベンションやユニークベニューの支援・充実を図り、MICE開催都市としての魅力を向上させる必要がある。
- ② 市内の宿泊が見込まれるコンベンション、長期型・注目度の高いイベント等を誘致し、市内宿泊客数の増加へつなげ、千葉市のブランディング向上を図る必要がある。

課題解決に向けた戦略

MICE誘致推進と受入れ環境の整備

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題ウ MICE誘致の推進

戦略 MICE誘致推進と受入れ環境の整備

取組み方針

MICE誘致の強化

MICE施設周辺の環境整備・魅力向上

具体的な事業例

大規模イベントの開催支援の強化、国際的なスポーツ大会の誘致、海浜幕張駅周辺・中心市街地等の環境整備支援、歴史施設や海辺等千葉市の特色を生かした新たなアフターコンベンションやユニークベニューの開発 等

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題エ 市内観光における回遊性と県内観光のゲートウェイとしての機能強化

- ① 幕張新都心や中心市街地以外のスポットへのアクセス、幕張新都心からその他観光エリアへの交通アクセスが悪く、回遊性が乏しい。
- ② イベント目的等で幕張新都心地区等を訪れた観光客に対し、観光地としてのイメージの希薄さや市内回遊施策等の対策が不十分なため、当該イベントのみの参加で終わり、イベント前後の市内他施設等への観光に結び付いていない。
- ③ 房総方面を中心とした県内観光の発着点としての県内観光のゲートウェイとしての役割が十分に機能していない。



課題解決に向けた戦略

- ① 市内回遊性向上の新たな仕組みづくり
- ② 県内観光のゲートウェイ機能の強化

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題エ 市内観光における回遊性と県内観光のゲートウェイとしての機能強化

戦略① 市内回遊性向上の新たな仕組みづくり

取組み方針 回遊性・滞在期間を延ばす仕組みづくり
賑わい空間の創出支援
二次交通支援

具体的な事業例 アクセス向上のためのバス・タクシー事業者支援、MaaSの構築、
ナイトタイムエコノミー推進支援、中心市街地等での飲食・宿
泊へ繋げる仕組みづくり、新たな市内周遊コースの開発 等

戦略② 県内観光のゲートウェイ機能の強化

取組み方針 県内観光情報の集約と発信力の強化

具体的な事業例 駅前観光案内所等の充実、駅前・観光案内所等へのデジタルサ
イネージの設置、千葉市を発着地とするツアーの造成と支援、
交通事業者との連携 等

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題オ 観光産業の業務効率化と収益・生産性向上

- ① 観光産業におけるDXの推進を図り、収益・生産性向上を図る必要がある。
- ② 人材不足や資金不足等により稼働率を上げられない、現状以上に誘客する余力がない。
- ③ 県と協調して実務人材の確保・質の向上への支援を行う必要がある。
- ④ 現在、活用している観光庁やJNTOのオープンデータに加えて、新たにビッグデータを活用することにより、データに基づいたマーケティングの精度を高め、効果的・効率的な情報発信や観光資源の開発等を行う必要がある。



課題解決に向けた戦略

- ① 市内事業者が抱える課題解決につながる支援
- ② 民間事業者の収益・生産性向上に向けた観光DXの推進

03 課題解決に向けた取組み方針(案)

(2)課題解決に向けた取組方針(案) (各論)

課題オ 観光産業の業務効率化と収益・生産性向上

戦略① 市内事業者が抱える課題解決につながる支援

取組み方針 民間事業者の人材の確保、質の向上、誘客の促進に対する支援

具体的な事業例 観光産業の担い手づくり、宿泊事業者へのハラル・ヴィーガン客等への対応支援、地元専門学校生と事業者の就職マッチング支援、市全体のホスピタリティの向上 等

戦略② 民間事業者の収益・生産性向上に向けた観光DXの推進

取組み方針 民間事業者の業務効率化への支援

具体的な事業例 事業者が行うビッグデータ等を活用したマーケティング支援、事業者へのデータ提供等の支援、キャッシュレス決済導入支援、デジタル技術を活用した無人化の推進支援 等

01 県と市の役割

02 県の宿泊税の活用方針

03 課題解決に向けた取組方針(案)

04 市内宿泊事業者・宿泊者向けアンケート調査(案)

04 市内宿泊事業者・宿泊者向けアンケート調査(案)



千葉開府 900年

千の葉に 時を刻んで 900年

アンケート調査(案)概要

目 的

課題解決に必要な施策を検討するため、宿泊事業者や宿泊者の実態を調査する。
また、宿泊税導入検討の参考資料として、使途のイメージや宿泊税額について意見等を把握する。

	宿泊事業者	宿泊者
対 象	千葉市内の宿泊事業者	千葉市内の宿泊施設の宿泊者
対 象 数	調査先 約 200 施設 (旅館・ホテル、簡易宿所、民泊、特区民泊)	過去 3 年以内に千葉市の宿泊施設に宿泊した ことがある人(サンプル数：500 件)
実施方法	検討中(メールや郵送等による調査)	WEBアンケート調査
調査項目	宿泊施設のタイプ 客室数・収容人数 宿泊者数 従業員数 宿泊料金 使途のイメージ 宿泊税額 等	性別 年齢 居住地 宿泊時期・回数・同行人数 宿泊目的 宿泊プラン・金額 使途のイメージ 宿泊税額 等
実施時期	令和 7 年 2 月(2 週間程度)	令和 7 年 2 月(2 週間程度)